

No.	13-1-2	場所	大鹿村 大河原小学校	次世代への継承キーワード	地域コミュニティ
名称	①大西山崩壊の爆風で穴が開いた小学校の体育館 ②校庭の泥をかきだす子供たち			河川	小渋川本川
災害現象	復旧作業・子供			支流	
補足事項					

概要

小渋川流域は谷が深く、多量の降雨によってたちまち増水し、急斜面を流れて土砂を押し出した。連日の降雨によって大量の水を含んだ斜面が不安定化し地すべり・山抜けの状態を引き起こし、土石流となって小渋川の流域に大きな災害をもたらした。

●体験談：香松寺住職

災害のため臨時休校を余儀なくされていたが、先生たちが各集落を巡回して分散学習をすることになったのだ。

「学校へ行けないことが子供たちの不安を募らせるので、学校再開までは地域の集会場などで学習させることにしました。授業らしいこともできませんでしたが、少なくとも不安をぬぐうことはできたでしょう。」

（「続・濁流の子」より）

記録



土砂崩壊の爆風で穴が開いた大河原小学校の体育館



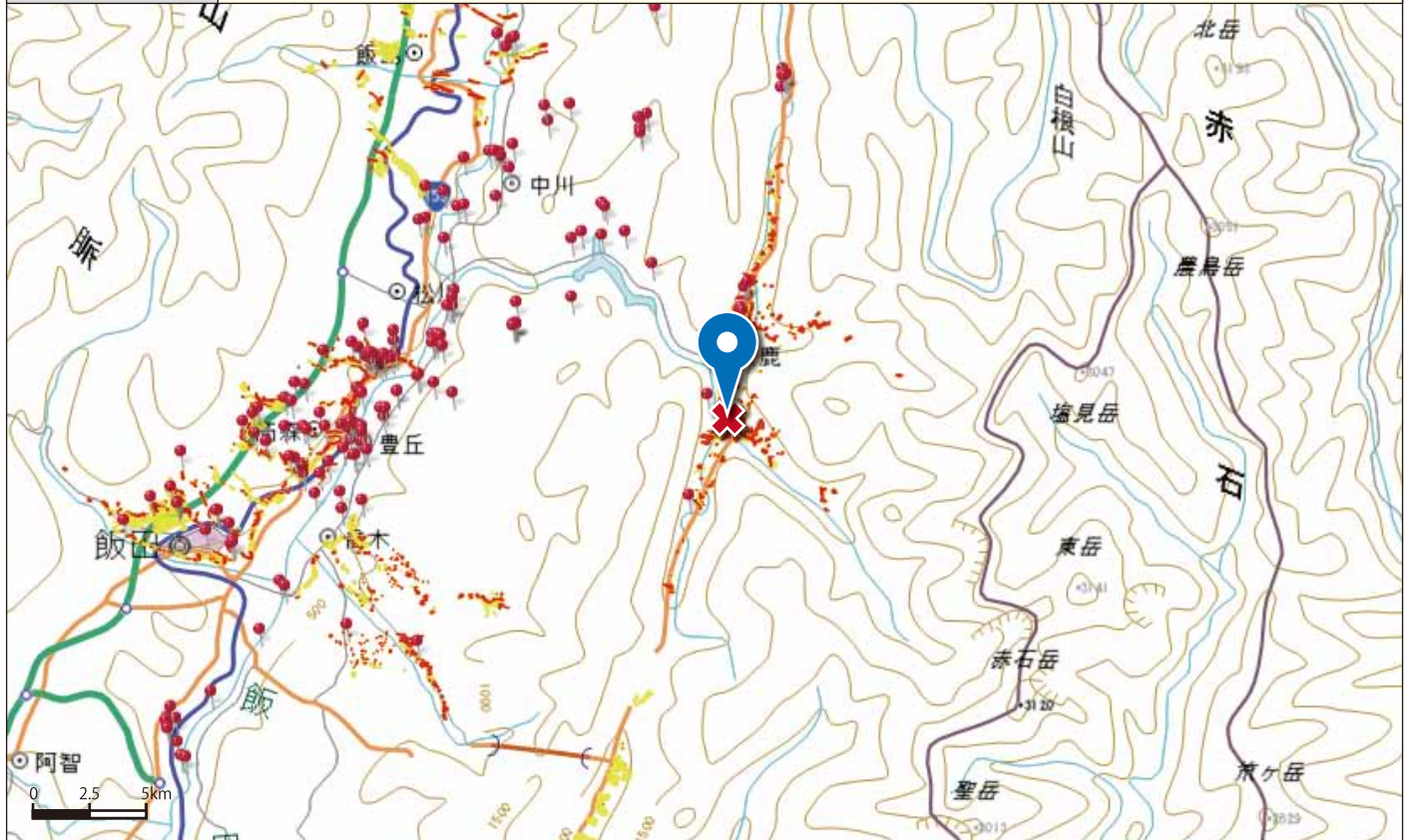
校庭の泥だし作業を行う児童たち

出典	「大西山崩壊と大鹿村の復興」p.12/「続・濁流の子」p.14				
備考					

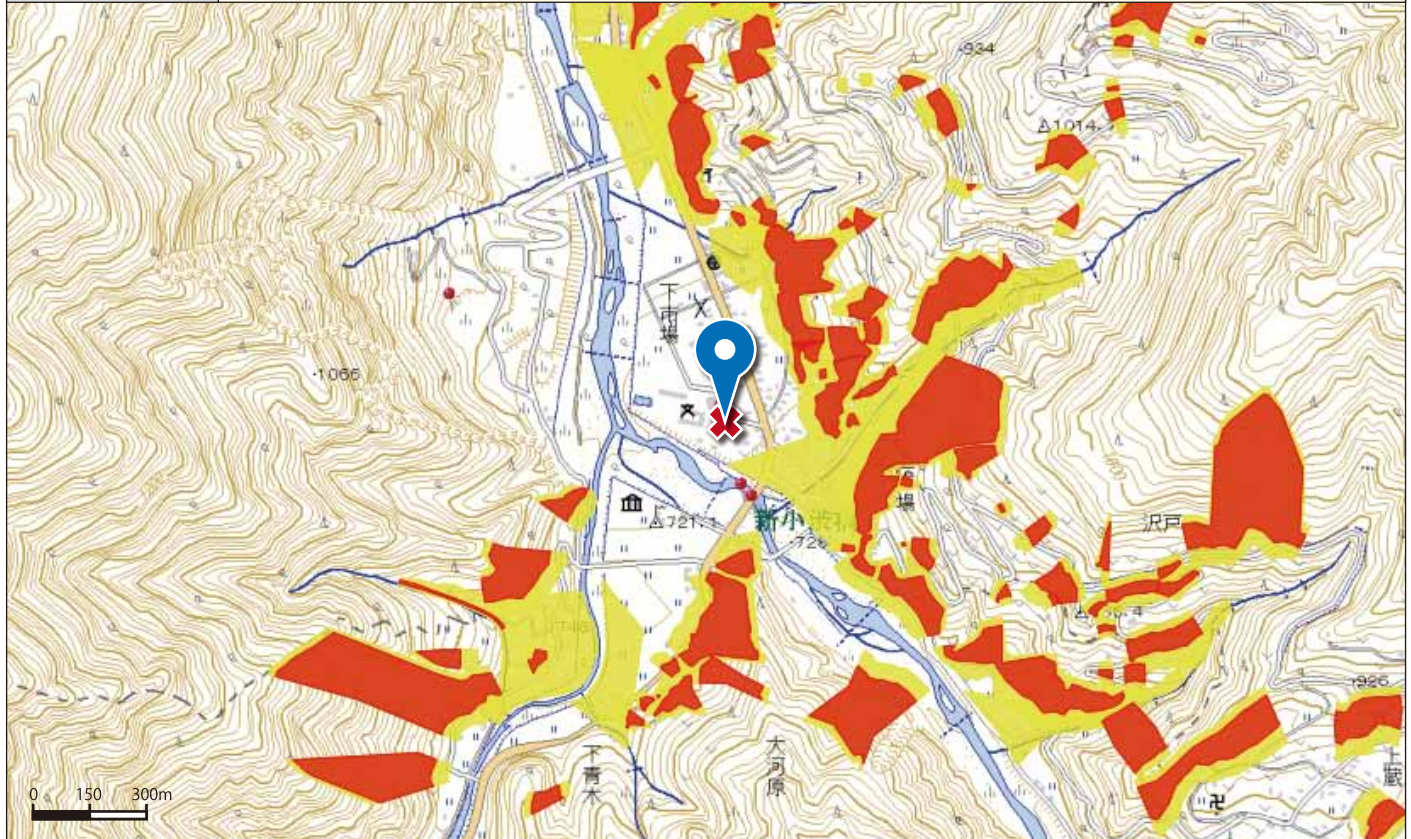
No.	13-1-2	場所	大鹿村 大河原小学校	緯度	35.558153
-----	--------	----	------------	----	-----------

名称	①大西山崩壊の爆風で穴が開いた小学校の体育館 ②校庭の泥をかきだす子供たち	経度	138.040080
----	--	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。